

# 男性の育児休業取得促進事業

平成31年 4 月

厚生労働省雇用環境・均等局職業生活両立課

# イクメンプロジェクト

## ■「イクメンプロジェクト」とは

- 積極的に育児をする「イクメン」及び「イクメン企業」を周知・広報するプロジェクト（H22年度から実施）
- 「イクメン企業アワード」や参加型の公式サイトなどを通じて男性の育児休業取得に関する社会的な気運の醸成を図るとともに、企業及び個人に対し育児と仕事の両立に関する情報・好事例等を提供し、男性の育児と仕事の両立の促進を図る。



### 数値目標

- ★ 男性の育児休業取得率：5.14%(2017年度) → 13%(2020年度)
- ★ 第1子出産前後の女性の継続就業率：53.1%(2015年) → 55%(2020年)

## 活動内容

### 企業表彰及びサイト運営等

- ◆ 推進委員会の設置・運営
- ◆ イクメン企業アワード（H25～）、イクボスアワード（H26～）の実施
- ◆ イクメンスピーチ甲子園の実施（H26～）
- ◆ 大学生を対象とした講座の実施（H26～）
- ◆ 公式サイト運営（平成29年度アクセス数 約37万件）

<30年度 表彰実施内容>

#### イクメン企業アワード2018（応募総数 41社）

男性の育児と仕事の両立を推進する企業を表彰

両立支援部門【グランプリ】2社 【特別奨励賞】2社

理解促進部門【グランプリ】1社 【特別奨励賞】1社



#### イクボスアワード2018（応募総数 70名）

部下の育児と仕事の両立を支援する男女管理職を表彰

【グランプリ】2名 【特別奨励賞】2名



### セミナー実施等による周知広報

- ◆ 検討委員会の設置・運営
- ◆ 職場内研修資料・研修動画の作成
- ◆ 企業経営者や人事担当者を対象としたセミナーの開催
- ◆ 企業に働きかけを行う自治体を対象としたセミナーの開催
- ◆ ハンドブックやリーフレット等の広報資料の作成・配布

【30年度の拡充内容】

- ◆ セミナー実施回数の増加  
企業向け・自治体向け：各4回→各8回  
※全国各地で開催
- ◆ 職場内研修資料の解説動画の作成

双方向からイクメンプロジェクトを運営し、男性の仕事と家庭の両立を推進

# イクメン企業アワード2018

## 【両立支援部門】

男性従業員の育児と仕事の両立を積極的に促進し、  
業務改善を図る企業を表彰

- 【グランプリ】 株式会社サカタ製作所(新潟県)  
日本ユニシス株式会社(東京都)
- 【特別奨励賞】 株式会社京葉銀行(千葉県)  
田辺三菱製薬株式会社(大阪府)



## ＜グランプリ受賞の取組概要＞

### 株式会社サカタ製作所

所在地:新潟県長岡市  
業種:製造業 従業員数:141人

- ◆ 男性従業員の育児休業取得率:50%、  
平均取得日数:17日(2017年度)
- ◆ 学童保育を利用する社員からの声を踏まえ、  
子の看護休暇や育児短時間勤務制度の対象  
児童の年齢を「小学4年生未満まで」に引き上げ。
- ◆ 育休取得による経済的不安を抱く社員のために、  
個別に収入シミュレーションを実施。  
また、スムーズに業務引き継ぎができるよう、  
取得予定者と役員・管理職、人事部門が面談を  
実施。

### 日本ユニシス株式会社

所在地:東京都江東区  
業種:情報通信業 従業員数:4,190人

- ◆ 男性従業員の育児休業取得率:17.6%、  
平均取得日数:73日(2017年度)
- ◆ 配偶者出産時の特別休暇(2日間の有給休暇)を  
約4分の3の社員が利用。
- ◆ 育休の取得前後に、本人、管理職、ダイバーシティ  
推進担当者による三者面談を実施し、社員の不安を  
払拭するとともに、管理職の理解も深めている。

# イクメン企業アワード2018



## 【理解促進部門】

男性が家事・育児を積極的かつ日常的に行うことを応援する企業・団体が、男性の育児と仕事の両立の普及促進につながるよう社会に対して発信を行う活動を表彰

【グランプリ】大和ハウス工業株式会社(大阪府)  
【特別奨励賞】株式会社CaSy(東京都)



## ＜グランプリ受賞の取組概要＞

### 大和ハウス工業株式会社

所在地:大阪府大阪市  
業種:建設業 従業員数:16,275人

- ◆戸建住宅の販売を通じ、家事、子育てを「家族ごと」としてシェアするライフスタイルを提案。男性や子どもが家事を担いやすい具体的な動線や収納方法を提案するなど、家事や子育てを女性だけのものにせず、男性も当事者であることの理解を促進。

## ＜特別奨励賞受賞の取組概要＞

### 株式会社CaSy

所在地:東京都千代田区  
業種:生活関連サービス業 従業員数:33人

- ◆子育て世帯に訪問して家事代行サービスを提供するにあたり、父親に対して実践しやすい家事テクニックや家事分担しやすい仕組みを提案。個々の状況に応じたアドバイスにより、父親の当事者意識を高めている。

## イクボスアワード2018



部下の育休取得や短時間勤務等に際し、業務を滞りなく進めるための工夫をしつつ、自らも仕事と生活を充実させている管理職を表彰

- 【グランプリ】 株式会社ダイエー 四条畷店長 岩切 尚子氏  
日本航空株式会社 広報部長 北原 宗明氏
- 【特別奨励賞】 リコージャパン株式会社 販売事業本部  
山口支社 事業戦略部 部長 藤井 隆弘氏  
株式会社技研製作所 東京総務部  
部門リーダー 簗田 美紀氏



### <グランプリ受賞の取組概要>

#### 株式会社ダイエー 四条畷店長 岩切 尚子氏

業種:小売業

- ◆ 部下の育児と仕事の両立への配慮に加え、より意欲的に職務に取り組めるよう、キャリア支援するとともに、管理職の仕事の楽しさを伝えることで、将来のイクボスを養成。
- ◆ 自らの子育て経験や趣味のバレーボールでのセッターとしての経験から、一人ひとりの強みを活かした店舗経営を心掛けるとともに、自らも楽しみながらステップアップ。

#### 日本航空株式会社 広報部長 北原 宗明氏

業種:運輸業

- ◆ 本社部門では初となる男性の長期育児特別休暇（8週間）を部下が取得。
- ◆ 自らも年次有給休暇を100%取得し、在宅勤務を月に2~3回実施しており、現在はマンション管理組合の理事、過去にはPTA役員等を歴任し地域活動へも積極的に参加

# 広報資料の作成

## 【イクメン企業アワード2018事例集、イクボスアワード2018インタビュー集】

- ・受賞企業の取組事例、受賞者のインタビューをまとめた事例集。
- ・取組の効果や、イクボスからの一言を掲載。
- ・配布先：都道府県、都道府県労働局など。



## 【父親の仕事と育児両立読本】

- ・育児休業などの両立支援の制度を活用して、パパが仕事と育児を両立するためのヒントをまとめたハンドブック。
- ・配布先：都道府県、都道府県労働局など。



## 【イクメンのススメ】

- ・イクメンのメリットや体験談などを掲載した、コンパクトサイズ(母子手帳と同サイズ)のリーフレット。
- ・配布先：都道府県、都道府県労働局、市町村、業界団体など。

# 動画研修資料の作成、企業・自治体向けセミナーの実施

## 【動画研修資料の作成】

- ・企業が職場内研修で活用できる研修用資料（パワーポイント資料）と、その内容をインタビューなどを交えてわかりやすく解説した動画研修資料を作成。
- ・イクメンプロジェクト公式ホームページより、ダウンロード可能。

## 動画で解説

動画資料

🎞️をクリックすると、YouTubeで動画が再生されます。  
[ダウンロードボタン](#)をクリックすると、MP4形式の動画をダウンロードできます。

[今すぐ実践！男性の育児休業] **New!**

男性の育児休業取得に関するポイントを、経営者や有識者へのインタビューを交えながら、わかりやすく解説。企業における職場内研修で活用できます。

PR版 on YouTube (3分)      全編ダウンロード (42分)

## 【企業・自治体向けセミナーの実施】

- 目的
  - ・企業においては男性の仕事と育児の両立等に関する職場内研修を開催できるように、自治体においては企業を対象とした男性の仕事と育児の両立等に関する研修を開催できるように、研修のポイント等を伝えるセミナーを開催。
- 対象者
  - ・企業の人事労務担当者
  - ・自治体の担当職員      など
- セミナー内容
  - ・先進企業の取組事例紹介
  - ・職場内研修資料の説明、研修実施のポイントの説明
  - ・ワークショップ、意見交換
- 開催状況
  - ・全国で計16回開催し、計698名が参加



# 男性の育児休業取得促進事業（イクメンプロジェクト）

31年度予算額 88,304千円  
(30年度予算額 67,740千円)

## ■「イクメンプロジェクト」とは（H22年度から実施）

- 積極的に育児をする「イクメン」の仕事との両立に取り組む「イクメン企業」を支援し、好事例等を周知・広報するプロジェクト
- 表彰や参加型の公式サイトなどを通じて、企業及び個人に対し仕事と育児の両立に関する情報・好事例等を提供し、男性の仕事と育児の両立の促進を図るとともに、男性の育児休業取得に関する社会的な気運の醸成を図る。



## ■「イクメンプロジェクト」のねらい

- 男性の育児休業の取得や育児短時間勤務の利用を契機とした、職場内の業務改善や働き方の見直しによるワーク・ライフ・バランスの実現
- 男性の育児に参画したいという希望の実現や育児休業の取得促進、女性の継続就業率と出生率の向上

## 平成31年度活動案

### 1 イクメン2020キャンペーンの実施【新規】

子が出生して8週間以内に男性が育児のために休みを取ることを勧奨し、男性の育児参加を促すため、全国的な普及啓発キャンペーンを実施する。

### 2 企業等への働きかけの実施

企業担当者や企業に働きかけを行う自治体を対象としたセミナーの開催、職場内研修資料等の周知広報等を通じ、男性の育児休業取得に対する職場の理解や支援を促進させる。

### 3 企業表彰・イクボス表彰の実施

男性の育児と仕事の両立を推進する企業を表彰する「イクメン企業アワード」を実施し、男性の育児休業取得促進に係る模範的な取組・労務管理を周知するとともに、部下の育休取得や短時間勤務等に際し、業務を滞りなく進めるための工夫をしつつ、自らも仕事と生活を充実させている男女管理職を表彰する「イクボスアワード」を実施し、部下の仕事と育児の両立を支援している管理職のモデルを周知する。

### 4 「イクメンプロジェクト」公式サイト等の運営等

企業の好事例集やパンフレット等関係資料の作成・掲載、仕事と育児の両立体験談の掲載、自治体の取組情報の収集・発信等により広く情報提供を図る。

### 5 イクメンプロジェクト推進委員会の設置・運営

有識者等による「推進委員会」を設置し、プロジェクトの内容・実施方法について協議する。

数値目標

★ 男性の育児休業取得率5.14%(2017年度) → 13%(2020年度)